

年 頭 の 挨拶

愛知県自動車車体整備協同組合 理事長 金原正和



新年明けましておめでとうございます。

愛知県自動車車体整備協同組合理事長の金原正和です。

令和3年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

「令和」時代となり、3年目を迎えます。本来ですと、昨年は東京オリンピックが開催されて、世界中から大注目され各国から大勢の人々が訪れ、開催による経済効果により景気回復となることを大いに期待していたところですが、

ところが、昨年は想像だにできなかった地球規模で大流行する新型コロナウイルスが世界中をパンデミックに陥れました。その脅威は未だに治まっていない現状であります。世界中でワクチン及び治療薬の開発がなされておりますが、日本国内においては未だワクチンの接種が行われておりません。

一刻も早いワクチン及び特効薬の開発を節に待ち望んでおります。

今後の日本を取り巻く世界情勢は、本年初頭には米国の大統領の交代が確実視されており、新たな友好関係を大いに期待するところであり、あわせてここ数年の中国、韓国及び北朝鮮を含めた近隣諸国との関係の緊張に融和をもたらすことを希望するところです。

自動車業界においては、昨年4月に施行された道路運送車両法の一部を改正する法律において、運輸局長の認証が必要な分解整備の対象範囲を拡大し、名称も「特定整備」と改められ、我が業界においてもかつてない法改正となったところです。

特定整備工場制度開始に伴い、愛車協組合員においても「整備主任者等資格取得講習」を受講され、新規に電子制御装置整備の特定整備工場を取得する組合員及び変更申請後の電子制御装置整備の特定整備工場を取得する組合員が続出しております。

愛車協としまして、全組合員が特定整備工場の取得を目指して新制度を上手く活用して事業の拡大に繋げていく所存であります。

また、5年目となります日車協連の「高度化車体整備技能講習」及び「先進安全自動車対応優良車体整備事業者」の自主認定制度を有効に価値ある活用が出来るように努力していきたい存じます。

認定事業者の活動が愛車協の知名度を上げ、安心・安全な車体整備を提供する業界団体と事業所である事を多くのユーザー様にアピールし、車体整備業としてのブランド化に繋がるとともに、信頼のできる認定事業者の安心感のある修理は業界の資質と信頼向上に繋がります。厳しい現状ではあります。魅力ある事業を積極的に推進し、愛車協を支えていただいている組合員の皆様に貢献出来ればと思っております。

最後になりますが、未だに新型コロナウイルスが終息していない現状において、今までに経験したことのない日常生活を過ごす中で、我が業界もwithコロナの時代に求められる仕事、アイデアを模索していきたいと存じます。

本年も組合員、賛助会員及び関係団体皆様方の益々の発展とご活躍を祈念するとともに、役員一同、精一杯頑張りますので一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

